

「東北地方における

フードバンクのこれまでとこれから」

人口減少が進む東北において、公的福祉制度だけで、生活に困っている方を支えることはできません。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小の影響により、収入が削減され日々の食事にも困っている方々が増えています。行政に頼りきりにならず、市民や地域も主体的に参画でき、地域の医療福祉分野の社会的資源を有効活用できる「食を通じたセーフティネット（フードバンク）」への期待は、ますます高まっています。東北各地のフードバンクが連携することにより、広く東北地方に「食のセーフティネット」を広げ、困っている方を誰も放置しない社会の構築に寄与したいと考え本フォーラムを企画しました。

2023年3月15日水 13:00-15:30

仙台駅前貸会議室・ヒューモス5 貸会議室大【Aホール】

（仙台市青葉区中央1丁目10-1）

会場参加とオンライン（Zoom）による
ハイブリット開催

対象

フードバンクに関心のある
行政、NPO、企業や一般の方など

参加費

無料

参加
方法

会場定員：20名
オンライン定員：100人

参加
申込

【WEBでの申し込み方法】
東北フードバンク連携センターのfacebookから
Peatixを使ってお申し込みください。

【メールでの申し込み方法】
必要事項をご記入のうえ、tohoku.fb.info@gmail.com
までお申し込みください。



▲QRコードから
申し込みができます。

問い合わせ

東北フードバンク連携センター事務局

仙台市青葉区本町3-1-17 やまふくビル3F TEL.022-393-8201

✉ tohoku.fb.info@gmail.com

主催：一般社団法人 東北フードバンク連携センター

助成：宮城県共同募金会「参加と協働による新たな地域共生社会づくり支援事業」

東北フードバンク連携フォーラム

支援を受けるハードルが低く、一般市民でも参画しやすいフードバンク事業について、その成り立ちや特徴、どのような支援に結び付くのかなどについて理解できるフォーラムになります。また、宮城県内各地でフードバンク事業に取り組む団体の事業紹介をいただき、食を通じたセーフティネットへの参画のきっかけをつかんでいただく機会とします。

..... プログラム

12:45- 開 場

13:00-13:10 開 会

開会挨拶 東北フードバンク連携センター 代表理事 末 永 博

13:10-13:50 基調講演 「フードバンクのこれまでとこれから」

一般社団法人 全国フードバンク推進協議会
代表理事 米 山 廣 明



「立場を超えた連携が生み出すもの
～東日本大震災の教訓から～」

特定非営利活動法人 いわて連携復興センター 代表理事
一般社団法人 みちのく復興・地域デザインセンター
共同代表 葛 巻 徹



13:50-13:55 休 憩 (5分)

13:55-14:40 事例報告 一般社団法人 フードバンクいしのまき 代表理事 末 永 博
フードバンク仙台 川久保 堯 弘
特定非営利活動法人 いのちのパン 理事長 大 友 幸 証

14:40-15:20 パネルディスカッション

「東北におけるフードバンクのこれまでとこれから」

一般社団法人 全国フードバンク推進協議会 代表理事 米 山 廣 明
特定非営利活動法人 いわて連携復興センター 代表理事/
一般社団法人 みちのく復興・地域デザインセンター 共同代表 葛 巻 徹
一般社団法人 フードバンクいしのまき 代表理事 末 永 博
フードバンク仙台 川久保 堯 弘
特定非営利活動法人 いのちのパン 理事長 大 友 幸 証

15:20-15:25 質疑応答

15:25-15:30 閉会挨拶 東北フードバンク連携センター 専務理事 阿 部 知 幸